

妙安寺だより

テレフォン法話 092-751-608

4

お彼岸

彼岸というのは、仏教用語で、「向こう岸」すなわち仏の世界のことです。これにたいして、こちら側、この世のことは此岸といいます。

日本は、農業国であったので、春の彼岸はこれから種まきをしようとする頃、秋の彼岸は稲の収穫が終った頃に、お彼岸の法要を営むことによって、数日間の憩いを過ごしていました。

その期間に先祖の供養をしたり、お墓参りをしたりする行事は日本独特の仏教行事といわれています。

お墓参りの基本

お寺参りの順序としては、①本堂のご本尊に挨拶をする ②お墓参りをする ③手を洗いウガイをする ④位牌堂を清め、お供え物をする ⑤本堂のご本尊に挨拶をする が、一般的な基本です。

お墓参りには、花・線香・ロウソク・マッチ・お供えの品などを持参します。お墓に着いたら、まわりの雑草を抜き、まわりを掃き清め、ゴミは所定の場所(ゴミの分別をする)に置きます。

掃除が済んだら、お供えをし、ロウソク・線香を捧げ、お菓子、果物を供えます(供えた品はお持ち帰り下さい)

お墓参りの習慣は、陽気の良いこの季節に、普段は家庭内にいることが多い主婦や娘に、晴れて外出できる機会を与えるためだったと考えられています。

おはぎとぼた餅

春のお彼岸はぼた餅(牡丹)、秋のお彼岸はおはぎ(萩)をお供えします。春は、牡丹の花のように大ぶりに作られ、秋は小ぶりに作られています。

「やぼったいのがぼた餅、上品なのはおはぎ」「手製のはぼた餅、買うのはおはぎ」「棚に置くとぼた餅、仏壇に置くとおはぎ」

3月の行事予定

3月23日(日) 正午より 昼食(オトキ)
午後 1時より 春季お彼岸お施餓鬼法要
午後 2時より 法話

※卒塔婆供養の方は、同封の申込書に記入の上、早めにお申し込み下さい。

※太歳三カ日・寒修行・星祭り、方除けなどのお札は、各家の位牌堂(位牌堂のない方は本堂内に)にお供えしておりますので、お寺参りの際にお持ち帰り下さい。

